

令和5年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

大垣市地域公共交通会議 (大垣市)

平成20年 7月15日設置

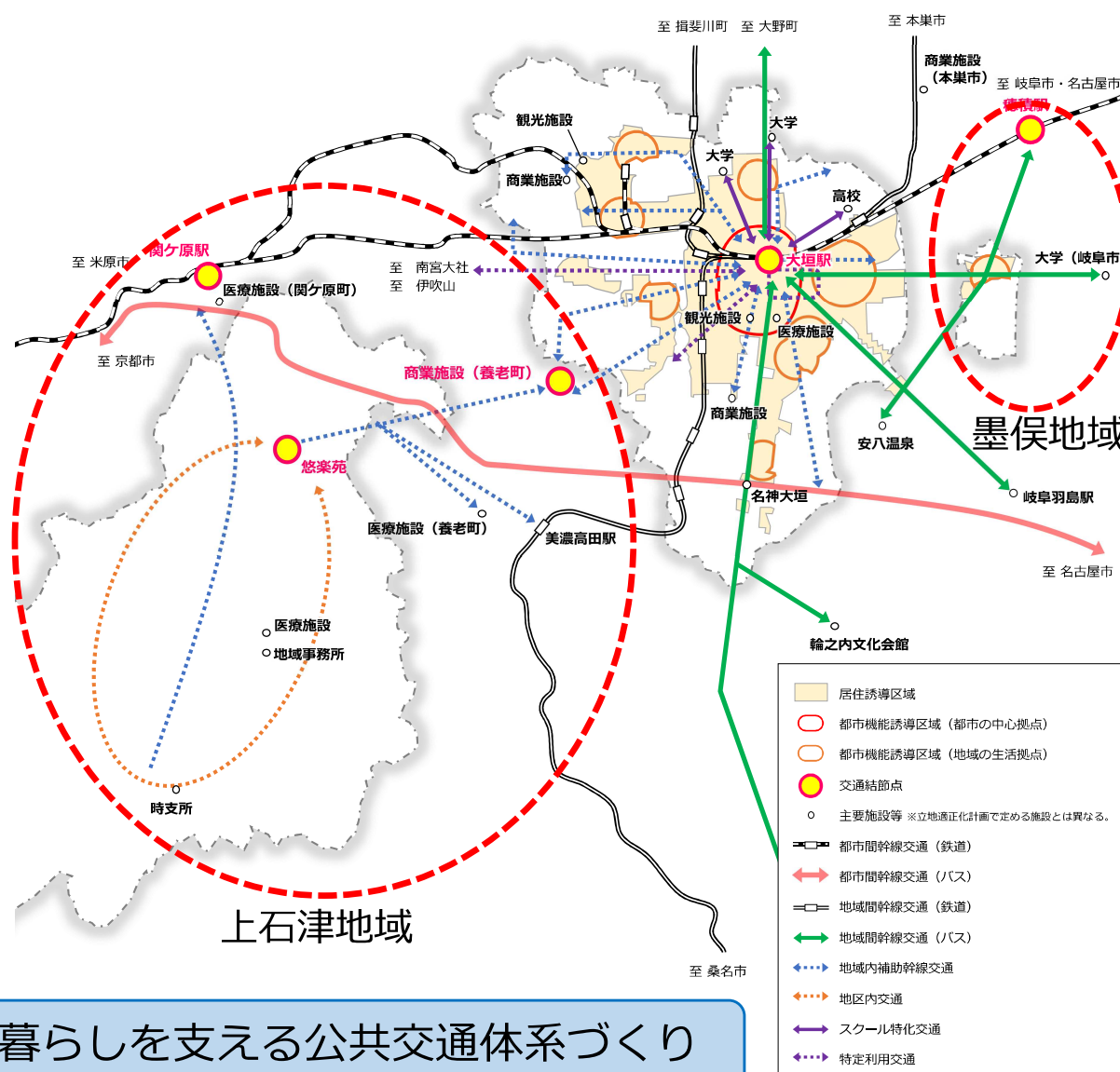
令和 2年10月22日 大垣市地域公共交通網形成計画策定
(計画期間：令和2年度～令和6年度)

令和 6年 1月17日 令和5年度評価結果送付

地域の特性や概要

- JR大垣駅を中心に鉄道では、養老線、樽見線、美濃赤坂支線があり、また、路線バスは駅を中心に放射状に運行し、通勤通学、通院を主とした移動を担っている。
- バス事業者の路線と市コミュニティバスで本市の全域をカバーしていることから、事業者路線と同一車両、同じ運賃体系を採用している。（廃止代替）
- 平成18年3月に飛び地合併し、各地域で生活圏や移動サービスが異っている。
- 人口は158,150人（R5.11.30時点）
人口減少や少子高齢化が進展

地域公共交通ネットワーク図



取組みの背景

- 地域のニーズに合った移動サービスの検討
- 一部のバス路線で生じていた需要と供給のミスマッチの解消

大垣市地域公共交通網形成計画

- 計画期間：令和2年度～令和6年度

■ 目指す将来像

持続可能なまちづくりや安心・安全な暮らしを支える公共交通体系づくり

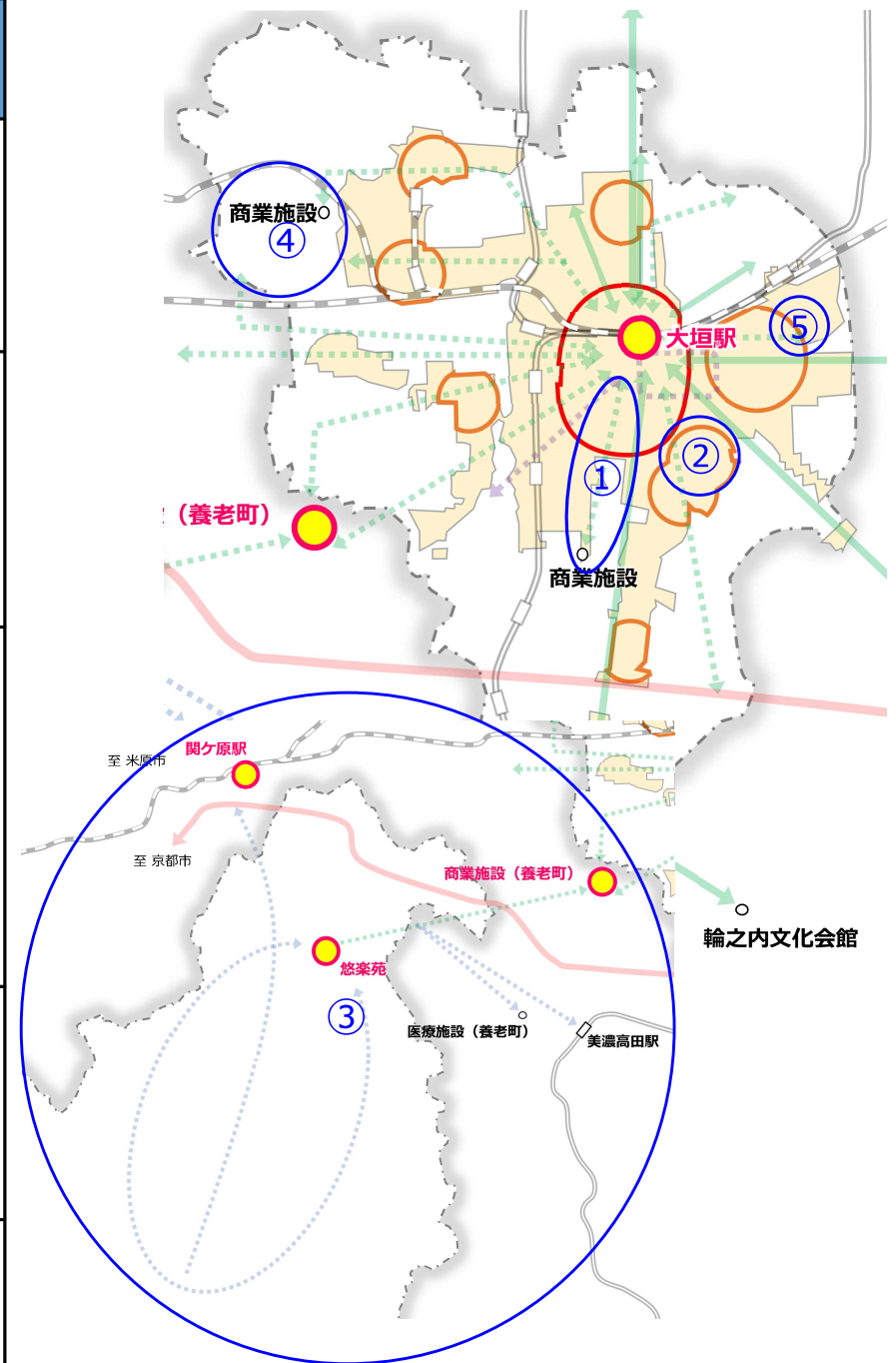
■ 公共交通の目標

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 目標1 公共交通等の整備 | 目標2 公共交通の利便性の向上 |
| 目標3 公共交通の新たな利用者の確保 | 目標4 公共交通の経営の健全化 |



■ 移動ニーズや地域特性等に対応したサービスの見直し

取組名称	取組概要	実施結果	実施結果の考察
①青柳線の増便 (R3.4.1～)	回送車等を利用し、増加傾向にあるバス路線（イオンモール行き）を増便	年間輸送人員 R2 52,436人 → R4 64,984人	中高生の利用が多い路線 増便の効果もありコロナ禍でも増加
②荒尾線の経路変更 (R3.4.1～)	他路線と重複している区間について、人口が増加している地域を経由するよう経路変更し、通勤通学等に対応	経路変更により経由したバス停の乗降者数 R2 2.5人/日 → R4 24.5人/日	通勤での利用が多い。 経路変更の効果により、バス利用の総数が増加してる
③上石津地域公共交通の再構築 (R3.4.1～)	経費削減を図りつつ、主に高齢者の日常生活の移動を優先した。買い物通院利用には乗継が必要。通学での利用もニーズが高かった駅への接続とした。	新設路線の年間輸送人員 R2 2,858人 → R4 4,929人	行き1便しかない路線だが、乗継拠点の施設の方の協力もあり、買い物等での乗継利用が年々増加
④青墓地域コミュニティバスの新設 (R5.4.1～)	昼間の空き時間等を活用し、交通空白地へのバス路線を新設	現在、業務委託での、OD調査や利用者への聞き取り調査を実施中	多くの方からありがたいとの声がある。一方、現状は利用が少ない。
⑤ソフトピア線の延伸 (R5.4.1～)	人口が増加している地域へ延伸し通勤通学等に対応		10歳代～30歳代が多く、通勤通学利用有

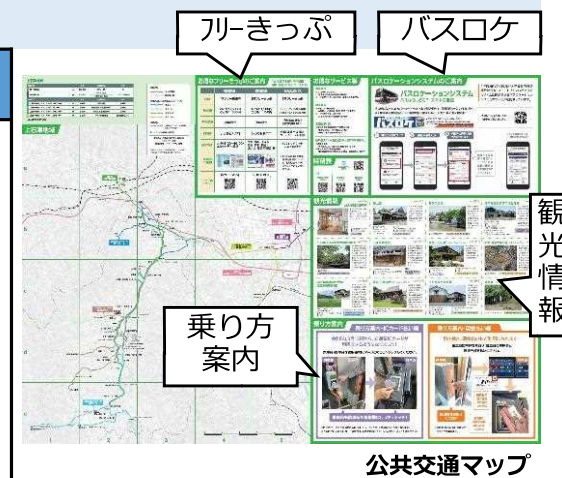


■ 地域公共交通のデジタル化

取組名称	取組概要	実施結果	実施結果の考察
キャッシュレス化の推進	交通系ICカード導入 (バス) モバイル定期券導入 (鉄道) フリーきっぷ導入 (鉄道・バス)	ICカード：1,400人/日 モバイル定期券：2300枚,12% バス実績：3枚・10回/日	現金利用の約半数がICカード利用となるなど、導入による反響は大きく、交通会議等でも便利になったとの声が出ている。
路線バスの位置情報の提供	バスロケ対象路線拡充 (1路線→24路線)	25,840アクセス/月 ※導入開始時の約2倍	遅延が多い路線を中心にアクセスされており、事業者においても遅延箇所の確認等で利用している。
ICTを活用した情報発信	GTFS-JPの整備及びオープン化 タクシーのアプリ配車導入	- 3社/4社中導入	今後は若い世代向けにもGoogle マップの利用促進を図る。

■ 新たな利用者の確保

取組名称	取組概要	実施結果	実施結果の考察																					
親子バス利用支援事業 (H28～継続)	親子のおでかけ促進のため、路線バスの運賃を無料にする。	<p>親子バスチケット利用実績</p> <table border="1"> <caption>親子バスチケット利用実績 (人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>4月～3月</th> <th>4月～11月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>37,126</td> <td>26,365</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>35,764</td> <td>25,893</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>19,529</td> <td>12,427</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>25,465</td> <td>16,634</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>32,745</td> <td>21,166</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>-</td> <td>25,121</td> </tr> </tbody> </table>	年度	4月～3月	4月～11月	平成30年度	37,126	26,365	令和元年度	35,764	25,893	令和2年度	19,529	12,427	令和3年度	25,465	16,634	令和4年度	32,745	21,166	令和5年度	-	25,121	市内の親子バスの利用は回復傾向にある。まちなかのイベント開催日は1日100人程度の利用があり、バスで来場される方もいると推測される。
年度	4月～3月	4月～11月																						
平成30年度	37,126	26,365																						
令和元年度	35,764	25,893																						
令和2年度	19,529	12,427																						
令和3年度	25,465	16,634																						
令和4年度	32,745	21,166																						
令和5年度	-	25,121																						
公共交通マップの作成・配布	スマホが利用できない高齢者等に対して配布	作成部数：1,000部 配布部数：500部程度 ※大垣駅の観光案内所や市役所受付等で閲覧できるようにすることで、公共交通機関の利用案内ができるようになった。	Google マップと合わせて、年齢等に合わせた、周知を実施していく。																					
大垣市のりものフェアの実施	地域公共交通の広報及び利用促進に関する取組	と き：令和5年10月1日 (日) 10:00~16:00 ※月1回のまち歩きイベントに合わせて開催 ところ：大垣公園 芝生広場 協 力：名阪近鉄バス、ローカル鉄道5社、タクシー協会、大垣工業高校	より多くの方に地域公共交通を知っていただき、体験していただく機会となった。																					



大垣市のりものフェア

目標	評価指標	基準値	目標値	達成状況（達成率）			考察
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	
公共交通等の整備	公共交通の利用者数	養老線の市内駅の乗降人数	4,891,598人/年	3,955,656人/年	4,209,457人/年	4,531,774人/年 (92.6%)	目標は未達成だが、年々回復傾向
		樽見線の市内駅の乗降人数	596,410人/年	460,630人/年	594,220人/年	709,560人/年 (119.0%)	市内駅付近の宅地化及び本巢市の利用促進策により大幅に増加し、目標は達成
公共交通の利便性向上	公共交通の利用者数	路線バスの年間輸送人員	1,785,971人/年	1,669,776人/年	1,621,813人/年	1,738,471人/年 (97.3%)	目標は未達成だが、令和3年4月の市内におけるバス路線の見直し等の効果により増加
		タクシーの年間輸送回数	617,978人/回	368,497人/回	393,169人/回	435,822人/回 (70.5%)	目標は未達成だが、年々回復傾向。今後夜間の利用を注視
公共交通の新たな利用者の確保	乗り継ぎ拠点である大垣駅での降車人数	養老線大垣駅での降車人数	4,929人/日	3,889人/日	4,171人/日	4,461人/日 (90.5%)	目標は未達成だが、年々回復傾向
		樽見線大垣駅での降車人数	702人/日	544人/日	717人/日	863人/日 (122.9%)	宅地化による大垣駅への利用が増加したため、目標は達成
公共交通の経営の健全化	バス停（大垣駅前＋大垣駅北口）での降車人数	バス停（大垣駅前＋大垣駅北口）での降車人数	1,966人/日	1,492人/日	1,619人/日	1,819人/日 (92.5%)	目標は未達成だが、路線見直し等により、通勤通学や買い物での駅利用の増加により回復傾向
		自主運行バスの実車走行キロ当たりの輸送人員	0.93人/km	0.97人/km	0.81人/km	0.76人/km	0.83人/km (85.6%)

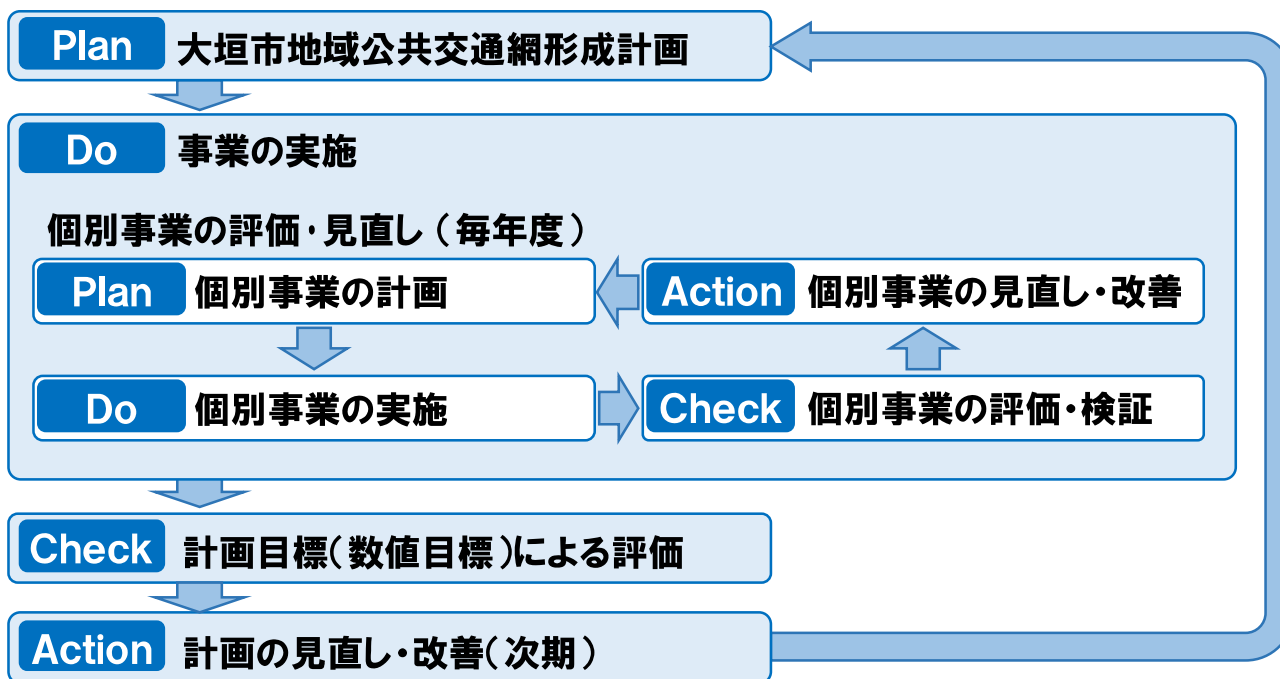
目標		評価指標	現在の到達点	今後の取組方針
公共交通等の整備	公共交通の利用者数	養老線の市内駅の乗降人数	右肩上がりであった利用者数は、コロナ禍により大きく落ち込んだ。	【養老線】 ・現在実施している定期券等に係るキャッシュレス化や企画列車（シナモロール列車）の運行など、定期・定期外に係る利用促進を継続していくとともに、更なる周知等に努める。 → 以上を通じて目標年度（6年度）にも目標値を達成予定
公共交通の利便性向上		樽見線の市内駅の乗降人数	こうした中、交通事業者及び沿線市町による利用促進等により、目標値には達していないものの回復傾向が続いている。	【樽見線】 ・本巣市による1日乗車券付き商品券の販売により大幅な定期外利用者の増となっているが、大垣市や瑞穂市の駅周辺の宅地化により、通勤通学の利用も増加し、コロナ前と同程度又はそれ以上となっている。 ・今後は企画乗車券や企画列車などの利用促進に努める。 → 以上を通じて目標年度（6年度）にも目標値を達成予定
		路線バスの年間輸送人員		
		タクシーの年間輸送回数		
公共交通の新たな利用者の確保	乗り継ぎ拠点である大垣駅での降車人数	養老線大垣駅での降車人数	通勤通学とともに定期利用が回復傾向にあるため、	【路線バス】 ・デジタル化やバス路線の見直し、沿線市町による定期補助等により、利用者の増加が見込まれる。 ・今後は計画に基づいて実施した事業の更なる周知や必要に応じて見直し等を実施するなど利用促進を進めていく。 → 以上を通じて目標年度（6年度）には目標値を達成予定
		樽見線大垣駅での降車人数	名古屋市や岐阜市等への乗り継ぎ拠点となる大垣駅での降車人数は、目標値には達していないものの回復傾向が続いている。	【タクシー】 ・今後はアプリ配車の稼働率の向上や短時間勤務等の需給のバランスを高めていく取組を実施していく。 → 夜間の利用が戻らない場合、現状では、目標年度（6年度）には目標値の達成を目指すものの、次期計画では目標値の見直しを検討
		バス停（大垣駅前＋北口）での降車人数		
公共交通の経営の健全化		自主運行バスの実車走行キロ当たりの輸送人員	輸送人員は増加傾向が続いているものの、目標達成の可否には検討が必要	・費用負担を抑えながら利便性を向上させ、運賃収入の確保につなげることを目的に回送車実車化等を進めており、経営の健全化には資するものの実車走行キロは増加している。 ・また、ドライバーの労働条件の改善に伴い、今後の回送車等の活用方法も再検討する必要がある。 → 次期計画では評価指標及び目標値の見直しを検討

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回			
前々回			

直近2年間の二次評価がないため未記載

※前回：○年○月○日、前々回：○年○月○日

計画全体におけるPDCAサイクル



【交通会議の実施状況】
 第1回会議 令和5年8月10日〈書面〉
 主な議題：赤坂線の経路変更
 第2回会議 令和5年10月26日
 主な議題：計画の進捗状況
 第3回会議 令和6年2月9日
 主な議題：上石津地域スクールバスの見直し

	令和2年度	令和3～5年度	令和6年度
P (計画) 地域公共交通網形成計画	計画策定 個別事業の計画 必要に応じて見直し	個別事業の計画 必要に応じて見直し	次期計画の検討
D (実行) 事業の実施	事業実施	事業実施	事業実施
C (評価) 事業の評価	事業評価 (進捗確認)	事業評価 (進捗確認)	事業評価 (進捗確認・ 計画目標 による評価)
A (見直し) 計画や事業の見直し・改善	見直し・改善	見直し・改善	見直し・改善

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

大垣市地域公共交通網形成計画の評価等結果（令和4年4月～令和5年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
目標1 公共交通等の整備 ※事業No. 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 14, 15, 27, 29, 30	事業1 公共交通の維持 事業2 移動ニーズや地域特性に対応したサービスの見直し 事業3 大垣市外出支援サービス事業 事業4 買い物支援事業 事業5 社会福祉法人、地域住民等が連携したサービス 事業6 利用環境の改善 事業7 路線バスのバスロケーションシステム	交通事業者が有するデータ	指標1 公共交通の利用者数 ① 養老線の市内駅の乗降人数 計画：4,891,598人/年 →現状維持 達成状況：4,531,774人/年 達成率：92.6% 分析：目標は未達成だが、年々回復傾向にある	交通事業者及び沿線市町による利用促進等により、目標値には達していないものの回復傾向が続いている。 キャッシュレス化による利便性向上や企画列車の運行等、定期・定期外の利用促進を実施しており、合わせて下記の事業について継続及び実施について検討を行う。 ※事業No. 1, 6, 10, 11, 12, 13, 15, 16, 18, 21, 22, 23, 24, 25, 28	評価の結果、計画の変更の必要はなし。 ※「タクシーの年間運送回数」「実車走行キロ当たりの輸送人員」については、次期計画において評価指標及び目標値の見直しを検討
	事業8 路線バスの経路検索システム 事業9 ICTを活用した情報提供 事業10 キャッシュレス化の推進 事業11 利用者負担の軽減 事業12 ダイヤ調整 事業13 公共交通マップの作成 事業14 鉄道駅やバス停等での案内や名称等の改善 事業15 案内表示、車内アナウンス等の多言語化の推進 事業16 運転免許証自主返納者支援事業の実施及び拡充	交通事業者が有するデータ	指標1 公共交通の利用者数 ② 樽見線の市内駅の乗降人数 計画：596,410人/年 →現状維持 達成状況：709,560人/年 達成率：119.0% 分析：市内駅付近の宅地化及び本巣市の利用促進策により大幅に増加し、目標は達成	交通事業者及び沿線市町による利用促進等により、目標値には達していないものの回復傾向が続いている。 本巣市による1日乗車券付き商品券の販売により大幅な定期外利用者の増となっているが、大垣市や瑞穂市の駅周辺の宅地化により、通勤通学の利用も増加し、コロナ前と同程度又はそれ以上となっている。今後は企画乗車券や企画列車などの利用促進に努めるとともに、合わせて下記の事業について継続及び実施について検討を行う。 ※事業No. 1, 10, 11, 12, 13, 16, 18, 21, 22, 23, 24, 25, 28	次年度以降に実施予定の取組み等 ・バス路線の見直し ・利用環境の改善 ・デジタル化 ・情報発信の推進を実施 ※継続して実施する事業は除く
目標2 公共交通の利便性の向上 ※事業No. 2, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 21, 22, 24	事業17 大垣市高齢者バス通院助成事業 事業18 障がい者の交通運賃割引 事業19 大垣市親子バス利用支援事業 事業20 大垣市た多胎家庭おでかけアシスタクシー事業 事業21 企画乗車券の導入 事業22 年間通学定期券	交通事業者が有するデータ	指標1 公共交通の利用者数 ③ 路線バスの年間輸送人員 計画：1,785,971人/年 →現状維持 達成状況：1,738,471人/年 達成率：97.3% 分析：目標は未達成だが、令和3年4月の市内にけるバス路線の見直し等の効果により増加	交通事業者及び沿線市町による利用促進等により、目標値には達していないものの回復傾向が続いている。 デジタル化やバス路線の見直し、沿線市町による定期補助等により、利用者の増加が見込まれる。 今後は計画に基づいて実施した事業の更なる周知や必要に応じて見直し等を実施するなど利用促進を進めていくとともに、合わせて下記の事業について継続及び実施について検討を行う。 ※事業No. 1, 2, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 18, 21, 22, 23, 24, 25, 27, 28, 29	

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
	事業23 各種イベントや商業施設、観光施設等と連携した利用促進や普及啓発 事業24 イベント等における情報の発信 事業25 モビリティ・マネジメントの推進 事業26 交通事業者と連携した記念事業の実施 事業27 路線バスの回送車の有効活用等による増便や運賃収入の確保	交通事業者が有するデータ	指標1 公共交通の利用者数 ④ タクシーの年間輸送回数 計画：617,978回/年 →現状維持 達成状況：435,822回/年 達成率：70.5% 分析：目標は未達成だが、年々回復傾向にある 今後の夜間利用を注視	交通事業者及び沿線市町による利用促進等により、目標値には達していないものの回復傾向が続いている。 今後はアプリ配車の稼働率の向上や短時間勤務等の需給のバランスを高めていく取組を実施していくとともに、合わせて下記の事業について継続及び実施について検討を行う。 ※事業No.1, 6, 9, 10, 11, 13, 16, 18, 23, 29	
目標3 公共交通の新たな利用者の確保 ※事業No. 2, 6, 7, 811, 12, 13, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26	事業28 旅行商品やグッズ等の販売による収入確保 事業29 運転手等の担い手確保 事業30 交通事業者や地域住民、関係機関等と連携した運行内容や利用促進についての検討	交通事業者が有するデータ	指標2 乗り継ぎ拠点である大垣駅での降車人数 ① 養老線大垣駅での降車人数 計画：4,929人/日 →現状維持 達成状況：4,461人/日 達成率：90.5% 分析：目標は未達成だが、年々回復傾向にある	通勤通学ともに定期利用が回復傾向にあるため、名古屋市や岐阜市等への乗り継ぎ拠点となる大垣駅での降車人数は、目標値には達していないものの回復傾向が続いている。 キャッシュレス化による利便性向上や企画列車の運行等、定期・定期外の利用促進を実施しており、合わせて下記の事業について継続及び実施について検討を行う。 ※事業No. 1, 6, 10, 11, 12, 13, 15, 16, 18, 21, 22, 23, 24, 25, 28	
		交通事業者が有するデータ	指標2 乗り継ぎ拠点である大垣駅での降車人数 ② 樽見線大垣駅での降車人数 計画：702人/日 →現状維持 達成状況：863人/日 達成率：122.9% 分析：宅地化による大垣駅への利用が増加したため、目標は達成	通勤通学ともに定期利用が回復傾向にあるため、名古屋市や岐阜市等への乗り継ぎ拠点となる大垣駅での降車人数は、目標値には達していないものの回復傾向が続いている。 本巣市による1日乗車券付き商品券の販売により大幅な定期外利用者の増となっているが、大垣市や瑞穂市の駅周辺の宅地化により、通勤通学の利用も増加し、コロナ前と同程度又はそれ以上となっている。 今後は企画乗車券や企画列車などの利用促進に努めるとともに、合わせて下記の事業について継続及び実施について検討を行う ※事業No. 1, 10, 11, 12, 13, 16, 18, 21, 22, 23, 24, 25, 28	

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
目標4 公共交通の経営の健全化 ※事業No. 1, 2, 23, 27, 28, 29, 30		交通事業者が有する乗降データから算出	指標2 乗り継ぎ拠点である大垣駅での降車人数 ③ バス停（大垣駅前＋大垣駅北口）での降車人数 計画：1,966人/日 →現状維持 達成状況：1,819人/日 達成率：92.5% 分析：目標は未達成だが、路線見直し等により、通期通学や買い物での駅利用の増加により回復傾向	通勤通学ともに定期利用が回復傾向にあるため、名古屋市や岐阜市等への乗り継ぎ拠点となる大垣駅での降車人数は、目標値には達していないものの回復傾向が続いている。 デジタル化やバス路線の見直し、沿線市町による定期補助等により、利用者の増加が見込まれる。 今後は計画に基づいて実施した事業の更なる周知や必要に応じて見直し等を実施するなど利用促進を進めていくとともに、合わせて下記の事業について継続及び実施について検討を行う。 ※事業No. 1, 2, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 18, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30	
		交通事業者が有するデータから算出	指標3 自主運行バスの実車走行キロ当たりの輸送人員（輸送人員÷実車走行キロ） 計画：0.93 →0.97 達成状況：0.83 達成率：85.6% 分析：目標は未達成だが、輸送人員は回復傾向	輸送人員は増加傾向が続いているものの、目標達成の可否には検討が必要。 費用負担を抑えながら利便性を向上させ、運賃収入の確保につなげることを目的に回送車実車化等を進めており、経営の健全化には資するものの実車走行キロは増加している。 また、ドライバーの労働条件の改善に伴い、今後の回送車等の活用方法も再検討する必要がある。 ※事業No. 1, 2, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 18, 21, 22, 23, 24, 25, 27, 28, 29	

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。